

汗を流すこと

アテネオリンピックも日本人大活躍のうちに終了し、気がつくと秋の風が吹き始めていますが、スポーツマンの汗は数多くの感動を与えてくれました。

さて、自分のことを振り返ってみると最近では夏だということに汗をかくことが少なくなったように思います。もちろんそれはクーラーの効いた部屋にいるからで、外は相変わらず暑いわけですが。ただ、日本のように夏が高温多湿の風土において、クーラーというのは画期的な発明であり、現代特に都市部の生活には欠くことのできないものとなっています。心地よい環境で暮らすことは悪い事ではないのですが、気をつけないと長時間涼しい場所にいつづけると体調を崩すことさえあります。

もともと汗をかくというのは、恒温動物の人間にとっては高くなりすぎた体温を下げるための生理機能の一つなのですが、汗はにおいやあのベタベタ感に嫌悪感をもつ人もいるでしょう。しかし「汗する」という言葉は「努力をする。精を出して働く。」という別の意味も持っています。「額に汗して・・・」というのは政治家が安易に使いそうな言葉ではありますが、印象としては「手間のかかることを地道にコツコツ努力する」イメージがあります。

勉強で言えば、英単語や漢字を覚えること、計算問題で筆算を行うことなどがそれに当たるかも知れません。ワープロの日本語変換ソフトや電子辞書・電卓など、便利な道具が私たちを手間のかかる面倒な作業から「解放」してくれているかのようです。そう、実は勉強の世界でも私たちは汗をかくことが無くなっているのです。

「単純作業は機械に任せて、人間はより高度で創造的な仕事をすればよい。」とか「九九も漢字も覚えなくてもよい。」と極論を言う人もいるようですが、機械に任せすぎると生命力が弱くなってしまわないのでしょうか。誤変換だらけの文章や明らかに桁違いの数字を見たときに、「これはおかしい」と感じることのできる人は、きっと自分の手と頭と鉛筆を使って汗を流した経験をもっていると思います。

'04年度1学期通知表結果

9科目別平均	英語	数学	国語	社会	理科	5科目計	音楽	美術	保体	技家	9科目計	
学年	1	4.5	4.2	3.9	3.9	4.0	20.3	3.4	3.5	3.3	3.5	34.0
	2	5.0	5.0	3.8	4.3	4.3	22.3	4.3	4.0	3.8	3.5	37.8
	3	4.9	4.9	4.2	4.3	4.5	22.8	3.9	3.9	3.9	4.3	38.8

5科目別内申評定割合 (%)

	英語	数学	国語	社会	理科
5	77	70	30	37	47
4	17	20	40	43	33
3	7	7	30	13	20
2	0	3	0	7	0
1	0	0	0	0	0

9科目合計内申割合 (%)

	'04	'03	'02	'01
40~45	33	64	18	32
36~39	37	15	41	26
32~35	10	18	32	21
27~31	13	3	9	13
9~26	7	0	0	8